

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表

令和5年4月1日

アンケート期間：令和5年3月10日～令和5年3月20日

事業所名 ぴ～す

保護者等数（児童数） 10 回収数 10 割合 100%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%					近くの公園を有効活用している。また体育館も利用しながら十分な活動に繋げていく
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%					今後も専門性や経験値を高められるよう取り組んでいく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%					バリアフリー化は出来ないが一人ひとりが危険性を感知できるような支援・対応をしてきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%					毎日の清掃・消毒・除菌は継続的に行っていく。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%					ご家庭との連絡を密にしながら、今後も一人ひとりにあった支援を考えていく。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%					支援内容の説明は行っているが、ガイドラインの内容説明は不十分である。今後説明できるよう職員全体で詳しくなれるようにしていく。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%					ケース会議等で一人ひとりの個別計画の確認を行い計画に対する支援が行われているか確認している。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%					活動内容の工夫は継続的に行っていく
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	50%	10%		40%		保育所との交流会を行ったが、利用日によって参加できない家庭があった
保護者へ	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	90%	10%				
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	80%	10%		10%		今年度計画的に取り組みを考えていきたい。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%				日頃からその日の様子を詳しく教えてくれる。 写真を送ってくれるのでわかりやすい。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%				日頃から保護者との連絡を密にしてくれているので頼りにしている。	いつでも話やすい環境づくりと助言に対する知識を身に付けるための自己研鑽に励んでいく。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
の 説 明 等	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	60%	20%		20%	コロナ禍で大変な中イベントを企画してくださりありがとうございます	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%					
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%				毎月のび〜すだよりがとても良い。ホームページが常に更新されている。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100%					
非 常 時 等 の 対 応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	80%	20%				BCPを使って契約時やモニタリング時に、保護者に再確認していく
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	70%	30%				避難訓練は2カ月に1回集団活動として実施しています。び〜すだより等で様子をお伝えするようにしていきます。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				子どももび〜すが好きです。	魅力ある事業所となるよう精進していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	100%				いつも助けられています。家族みんなが感謝しています。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年4月1日

事業所名

ぴ～す

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%			近くの公園を有効活用する。 体育館と第2ぴ～すを活用する。
	2	職員の配置数は適切である	100%		一人ひとりがゆったりと関われる	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%			
	4	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%		清潔感を常に保てるようスタッフ全体で清掃や整理整頓を心掛けている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%			PDCAサイクルを職員全体で意識し共有しながら円滑に活動できるようにする。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%			アンケートの実施と公表、また結果を職員全体で共有し改善に向けた取り組みを行っていく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%			アンケートの実施と公表、また結果を職員全体で共有し改善に向けた取り組みを行っていく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%		社労士による研修と評価を実施している	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		地域外の同業施設への見学から常に自事業所の見直しを行っている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%		モニタリング毎にケース会議を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%		保護者との面談を定期的に行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%		本人支援・家族支援を適切に行っている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%		計画を職員全体で共し、計画に基づいた支援が行えるよう取り組んでる。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	86%	14%		主任を中心にプログラムのマンネリ化を防ぐよう配慮ながら計画を作成していく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	86%	14%	遊びの内容を変えて工夫している。	曜日で利用してる子への配慮を心掛けながら計画を作成していく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	100%			全体のバランスを見ながら作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	86%	14%		開始時に時間的に不可能なときもあるが、できるだけ毎日ミーティングの時間を設けていく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%		職員間で一日の振り返りが徹底されている	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		タブレットで記録し、他の職員が振り返りができる	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%			関係機関と連携し、モニタリングに同席させてもらうなど一貫した計画となるよう努めていく
関係機関や	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%			必要に応じて市役所と連絡を取りながら協力体制を整える
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者との 連携関係 機関や 保護者との 連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		各学校と連絡を密にしながら支援にあたっている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		各学校と連絡を密にしながら支援にあたっている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	100%		保育園との交流会を行った。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%		写真付きメールで保護者に発信するなど積極的に行っている	
保護者への	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%		一人ひとりに必要に応じて面談等を行っている	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%		契約時に行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%		その都度寄り添った支援を行っている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%		父母会の活動はないが、行事等を通して保護者の繋がりを大切にしている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%			迅速な対応を心掛けていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		HPやブログ、おたよりで分かりやすく伝えている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%			事務室にて管理してる。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	86%	14%		地域活動を取り入れ、地域との交流に機会を増やしていく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%			マニュアルは整備しており、2カ月に1回訓練を実施している。保護者に内容がわかるようにしていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		2カ月に1回必ず実施している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%		保護者との連絡のノート、送迎時に確認している	契約時に確認し、投薬が必要ときにはできるだけ職員に直接渡してもらうようにしているが、今後投薬表などを使って記録として残すようにしていく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%			対象児が現在いないが、食物アレルギーに関わらず受診後には保護者と連絡を取り合い、できるだけ共有するようにしている
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	86%	14%	日々の会話の中で報告しあい共有している	文章化することで明確になるので記録を確認につける
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%			研修計画に基づき実施する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%			身体拘束は基本的に考えていないが、やむを得ない場合を想定し考える機会を設けた

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。